

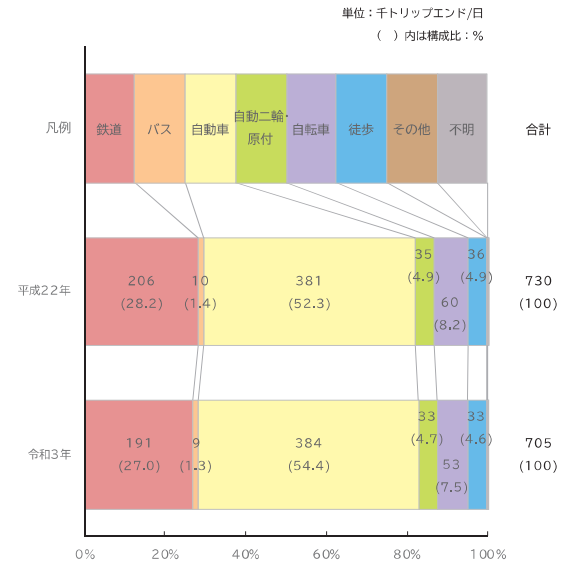
目的からみた人の動き

① 目的別の代表交通手段構成の推移(平日)

●平日の奈良県の代表交通手段構成を目的別にみると、出勤目的の半数以上が自動車を利用し、平成22年から約2ポイント増加しています。

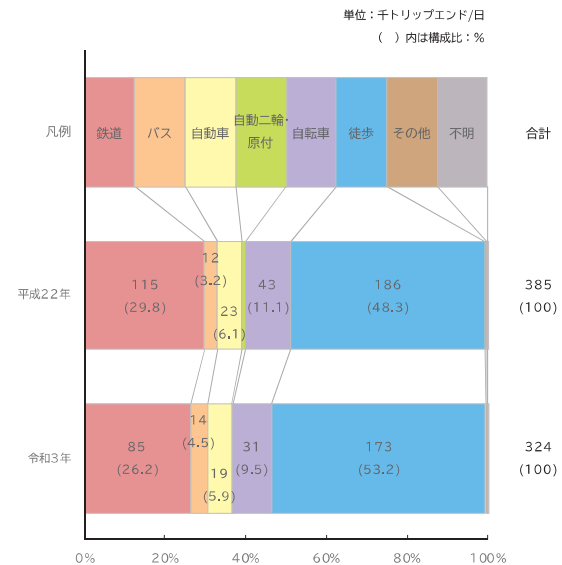
●登校目的では、令和3年は徒歩の割合が約5ポイント増加し、鉄道の割合が約4ポイント減少しています。

図21 出勤目的における代表交通手段構成比の推移(平成22年~令和3年)



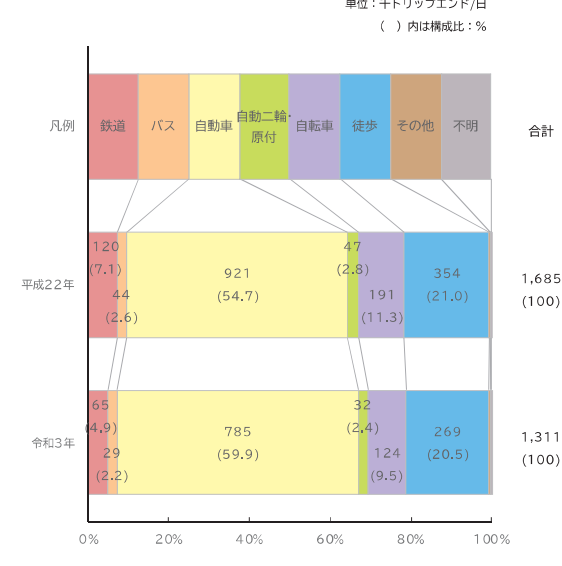
資料：第5~6回近畿圏パーソントリップ調査

図22 登校目的における代表交通手段構成比の推移(平成22年~令和3年)



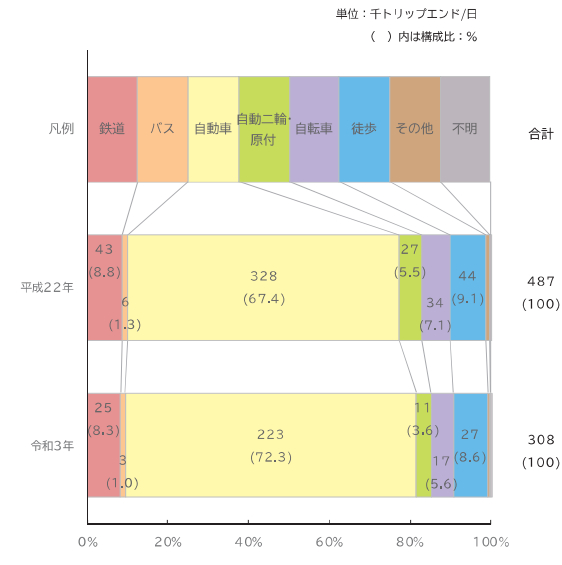
資料：第5~6回近畿圏パーソントリップ調査

図23 自由目的における代表交通手段構成比の推移(平成22年~令和3年)



資料：第5~6回近畿圏パーソントリップ調査

図24 業務目的における代表交通手段構成比の推移(平成22年~令和3年)



資料：第5~6回近畿圏パーソントリップ調査

●自由目的では、令和3年は自動車の割合が約5ポイント増加し、公共交通の割合が約3ポイント減少しています。

●業務目的では、令和3年は自動車の割合が約5ポイント増加し、自動二輪・原付や自転車の割合はそれぞれ約2ポイント減少しています。